

六年組 番号前)

漢字を書きましよう。

① 簡潔 かんけつ に 書く かく

② 策略 さくりやく を 考える かんがえる

③ 動詞 どうし の 働き はたらき

④ 学生諸君 がくせいしよくん

⑤ 看護学校 かんごがっこう に入る。

⑥ 罪 つみ を 認める みとめる

⑦ 本を 朗読 ろうどく する。

⑧ 案 あん を 検討 けんとう する。

⑨ 手紙 てがみ が 届く とどく

⑩ 布 ぬの を 赤く 染める そめる

⑪ 窓 まど を 開ける あける

⑫ 物語 ものがたり の 展開 てんかい

⑬ 貴重品 きちようひん を 失う うしなう

⑭ 展覧会 てんらんかい の 場所 ばしょ

⑮ 紅茶 こうちや を 飲む のむ

⑯ 水 みず が 蒸発 じようはつ する。

*□の中にていねい語・尊敬語・けんじよう語を書き入れ 下の言葉と線で結びましよう。

(一) 相手に対して ていねいに話す言い方

(二) 自分の動作をへりくだって話す言い方

(三) 聞き手や会話の中の人を尊敬して話す言い方

ていねい語

けんじよう語

尊敬語

うかがう

いらっしゃる

行きます

六年組 番号前)

漢字を書きましよう。

① エッセイの **著者**。
ちよしや

② 苦痛が **治まる**。
くつう おさまる

③ 単純な **計算**。
たんじゆん けいさん

④ 朝晩の **冷えこみ**。
あさばん ひえ

⑤ 作業の **分坦**。
さぎよう ぶんたん

⑥ 演説の **指揮者**。
えん しょうの しきしや

⑦ 航空機を **操縦**。
こうくうき そうじよう

⑧ ひ害の **拡大**。
ひがい かくだい

⑨ **考え**を **批判**する。
かんがえ ひはん

⑩ 専門家に **聞く**。
せんもんか きく

⑪ 私的な **用事**。
してき ようじ

⑫ **我**をわすれる。
われ

⑬ 自己 **暗示**をかける。
じこあんじ

⑭ 討論し **合う**。
とうろん あう

⑮ 疑問に **感じる**。
ぎもん かんじる

⑯ **厳しい** **寒さ**。
きびしい さむさ

次の文を()の敬語を使った文を□に書きかえましよう。

*スキーに行った。「ていねい語」

*どうぞ見てください。「尊敬語」

スキーに行きました。

どうぞご覧になってください。

*先生から記念品をもらう。「謙讓(けんじよう)語」

先生から記念品をいただいた。

漢字を書きましよう。

① やり方を **改善** する。
かち かいぜん

② **価値** のある **商品**。
かち しょうひん

③ **初めて** の **優勝**。
はじめて ゆうしょう

④ **郵便局** の **仕事**。
ゆうびんきょく しごと

⑤ **医** は **仁術**。
い じんじゆつ

⑥ **本** を **拝借** する。
ほん はいしゃく

⑦ **神聖** な **場所**。
しんせい ばしよ

⑧ **話** を **誤解** する。
はなし ごかい

⑨ **迷つて** **困る**。
まよつて こまる

⑩ **困難** な **仕事**。
こんなん しごと

⑪ **意欲** に **欠ける**。
いよく かける

⑫ **絹織物** を **買う**。
きぬおりもの かう

⑬ **就職説明会**。
しゆうしよくせつめいかい

⑭ **孝行** なおすこ。
こうこう

⑮ **民衆** が **集まる**。
みんしゆう あつまる

⑯ **暖かい** **春**。
あたたかい はる

人の話を聞く時のメモの取り方について 整理しましょう。

(一) **目的** に合わせて、**必要な** ことを書きます。

(二) **順序** や **理由** を表す言葉に着目する。

(三) **記号** や **図**、**絵**なども活用します。

メモの取り方

目的	図
記号	理由
順序	会話